



我らかくさめようりせのやれうきよもとのみろりを  
ゆの場とあるはかはれちつのよなやのにうる月影の者  
そやまとるゑの地小月の水ともいほ利の口ぞ一こむ  
やまを城の定までとゆるこまのはみのされゆる  
はらねつとまと月の影八つのひ乃がむきよせん

筆のアハもあよきとて何ひとづからむと歎歌のあらり  
一牧ハおも隊す月影のをと詠ふうと庭のあよ竹  
はくす聖や思月影ふかの男も門水歌か庵とつき出へり  
友のがきひあよきとて月ふめとせりもせんとわの秋  
然の女う嘆よ清一せんとくかけあらとれてととせしと  
この月小浦ひーといひとめん須テさーおと思ひつと  
よせまあるせやうもととおおがりてとくとくぬ月よおん  
月とめてとんひあくあうひと乃禮りきてとあくやをひと

きる月ふ袖ハぬうさてま紀の風もほめるやあくと  
花のやまき花ふあくる様さけてとくとく月と碎とあくと

淺草菴市人

淺瀬菴永喜

淺茅菴守全

淺花菴皮人

淺波菴河鳥

淺枝菴連人

淺倉菴三笑

淺葉菴音芳

淺子亭市成

淺綠菴春告

淺呂菴牧廣

淺流菴清志

淺月堂春人

淺律菴永世